

(様式3)

会議の要旨（議事録）

会議の名称	平成29年度第1回鳥栖市図書館運営協議会		
開催日時	平成29年11月2日（木） 14:00～15:30	開催場所	鳥栖市立図書館視聴覚室
出席者数	委員 6人（2人欠席） 事務局 7人	傍聴人数	0人
議題	(1) 平成28年度事業報告について (2) 平成29年度経過報告について (3) その他報告事項について		
配布資料	鳥栖市図書館運営協議会設置条例、同規則 鳥栖市図書館運営協議会委員名簿 鳥栖市立図書館要覧2016（事前配布） 平成29年度鳥栖市立図書館事業経過報告及び今後の予定 鳥栖市立図書館移動図書館車による館外サービスについて 鳥栖市子ども読書活動推進計画（案） 冬のおたのしみおはなし会チラシ 平成28年度に頂いた図書館へのご意見・ご提案と対応【抜粋】		
所管課	(課名) 生涯学習課 図書係 (電話番号) 85-3630		

議 事 録

1 開 会

- 事務局（佐藤課長兼館長）
 - ・委員2名欠席の報告
 - ・新任委員の自己紹介
- 教育長あいさつ

2 議 事

○内野委員長により議事進行

議題（1）平成28年度事業報告について

- 事務局報告
 - ・資料「鳥栖市立図書館要覧2016」に基づき説明。
- 委員
 - ・移動図書館車はすでに老朽化が進んでおりエアコンや設備など修理を繰り返していたので、買い替えできたことは素晴らしいと思います。ところで、10月から12月の休止期間3か月について、あるいは廃止となるステーションについて、市民から代替などの要望は出ていませんか。
- 事務局
 - ・今回の買い替えに伴い、車両内書架タイプによる館外サービスからデリバリーによる各施設での館内サービスに変更となります。3か月間の準備期間については、万全を期するために必要であると考えておりますが、早めに準備を整えば試験的運用を考えています。廃止となるステーションについては、まちづくり推進センターを巡回場所とすることについて、嘱託員会でも費用対効果の面からも見直すのは良いこととのご意見をいただいています。
- 委員長
 - ・要覧のP20とP21は、番号をリンクさせたら見やすいと思いますがいかがでしょうか。
- 事務局
 - ・来年度は、工夫して見やすくなるよう作りかえます。
- 委員
 - ・移動図書館車の巡回場所は、1月以降はどのように変わるのでしょうか。

●事務局

- ・各施設の建物内に場所を借り、ブックトラックごと本を持ち込ませていただく、いわば簡易図書館としての運用を考えています。最初の巡回は資料のとおり17施設から始めますが、今後は徐々に増やしていきたいですし、調整がつけば単発のイベント等にも出かけたいたいと考えております。

○委員

- ・今は読書週間で、学校でも図書館まつりを行っていますが、そういったイベントにも移動図書館車に来てもらえるものでしょうか。またその際は本の指定などにも対応いただけるのでしょうか。依頼方法があれば教えてください。

●事務局

- ・日時等が調整できれば、もちろん伺いたい意向です。ブックトラック毎に児童書セットや一般書セットを作る予定ですので要望も受けることができます。件数が少ないうちは電話で依頼を受ける形になると思いますが、依頼が多数になるようでしたら手続き方法についても整理します。

○委員

- ・基山町立図書館が新築されたとのことですが、鳥栖市も庁舎建て替えに合わせて図書館も新設することを希望したいですね。ここの図書館は人口に対して手狭ではないのでしょうか。

●事務局

- ・市庁舎は昭和42年、この図書館は平成4年に建設されています。構造物は50～60年の耐用がありますので、図書館新設は難しいと思いますが、これまでも、屋内外、工事や修繕を適宜行い安心安全な環境を整備してきました。また、人口に対する図書館の規模については、建設5万人の人口が現在7万人を超えています。対応はできていると考えています。

○委員

- ・要覧P7の組織と、P8の予算が分かりづらい。特に組織はもっと具体的に記載してもらいたい。それと、要覧P23の読書ボランティア研修会について、こういった形で行うのか。また、子ども読書活動推進計画（以下「計画」）にどう繋げていく考えでしょうか。

●事務局

- ・P7とP8は、来年度作成時改めます。P23読書ボランティアについては、研修会は図書館主体で行い館内の視聴覚室や集会室を提供し活動を支援していきたいと考えております。

○委員

- ・小郡市では、生涯学習の一環として65歳以上限定で構成された高齢者大学のサークル「たなばた会」があり、幼稚園・保育園や病院、施設などで読み聞かせ活動を行っています。後継者育成が課題ですが、市生涯学習課が取りまとめを行っています。
- ・学校においても、おじいちゃんおばあちゃんが「アクティブシニア」として読み聞かせで活躍しています。子どもたちに非常に喜ばれ、人気があります。ところで、鳥栖市は読書ボランティア団体を新しく作ろうとしているのでしょうか、それとも既存の会を活用する予定なのでしょうか。

●事務局

- ・市としては既存の団体を活用したいと考えています。初心者～中級者～上級者など数種類の研修会開催を通じて、ボランティアの情報を収集し必要としているところに繋げ、高齢者の活動支援も行っていただけらとを考えます。まちづくり推進センターで、地域の方の力を借りてソフト事業を行いたいと考えているところなので、ご意見いただき感謝します。

○委員

- ・連絡協議会の事務局が図書館だったり、活動の一つの枠が図書館だったり、関わり方は自治体によって色々でしょうけれども、図書館が何らかの形で関わっていくことが大切だと思います。

○委員長

- ・私は「ゆめさが大学（旧佐賀県高齢者大学）」に携わっているので伺いたいのですが、生涯学習メニューに関して鳥栖市はどのように取り組まれていますか。佐賀市や唐津市は知っていますが、鳥栖市に関しては勉強不足で存じ上げていないもので。

●事務局

- ・各地区公民館から各地区まちづくり推進センターに、名称も運営方法も変わりました。以前は生涯学習課主管で子どもから大人まで教養・趣味に関する生涯学習教室を各地区公民館で開催していましたが、現在は市民協働推進課に移管し、各地区まちづくり推進センターで行っています。

○委員長

- ・小郡市みたいに、高齢者にスキルを身に付けてもらい、学校などに還元したらどうでしょうか。

議題（2）平成29年度経過報告について

●事務局報告

- ・資料「平成29年度鳥栖市立図書館事業経報告及び今後の予定」に基

づき説明。

○委員

- ・「鳥栖よかここカルタ大会」は評判が良かったと聞いていますが、今後も継続されるのでしょうか。

●事務局

- ・図書館サイドとしては、是非継続したいと考えています。

○委員長

- ・「鳥栖よかここカルタ大会」とは、どんなものなのでしょうか。

○委員

- ・約2年前に市内8地区の一つの地区が、市の各地区の行事や観光地などを題材としたカルタを作って配布したものです。活用したとはあまり耳にしなかったのですが、今回、子どもクラブ連合会との共催で図書館で大会が行われました。

○委員長

- ・小学生が暗唱できれば、郷土のことを知るきっかけにもなりますね。

○委員

- ・「図書館おすすめ講座」は、文化財の職員が講師をされているのでしょうか。

●事務局

- ・3回開催のうち1回は外部から講師を招き、2回は文化財職員と図書館職員がそれぞれ講師を務めました。

議題（3）その他報告事項について

【鳥栖市立図書館移動図書館車による館外サービスについて】

○委員

- ・移動図書館車を買替えられています、愛称「とりんす号」はそのまま残されるのですか。

●事務局

- ・サービス内容を見直したことから、新車両は本を運ぶことが目的となります。運ぶ本自体が大切と考えていますので、車両に愛称を使う予定はありません。

○委員

- ・放課後児童クラブや学校を巡回する予定はありませんか。

●事務局

- ・現在のところ、定期巡回場所には入っていませんが、要望があり調整できれば是非巡回したいと考えています。

○全委員

- ・是非、新車両にも、いろいろな場所で活躍してほしいと思います。

【鳥栖市子ども読書活動推進計画（案）について】

○委員

- ・P7は「学習」「読書」「情報」と分け、P9「布の絵本」へ変更を、また「総合的な学習の時間」は使わず「アクティブラーニング」を使用したほうが良いのではと思います。後は検討していただきたい箇所ですが、市として「努める」でも良いから、財政的な措置を整理して入れるべきではないかと思います。国でも計画の見直しがされており、発達段階において中高生の活字離れをいかに防ぐかが中心的課題になっているので参考にしてください。上位計画になる教育振興計画も先日パブコメが終わり、国の策定委員会に佐賀県からも委嘱を受けた方がいらっしゃいます。

○委員長

- ・学校指導要領に大きな変更があると聞いていますし、今後10年間は様々な混乱があると推測されますね。それでは、計画についての意見は以上のようなので、1月のパブコメの後、2月開催予定の第2回運営協議会で再度諮っていただくということをお願いします。

○委員長

- ・それでは、他に意見も無いようなので、これで議事は終了したいと思います。

3 その他

●事務局

- ・第2回運営協議会は2月中旬以降に開催予定であり、日程については年明けに調整させていただきます。

4 閉会